unhs 5-2007Japanese:WAF.05.07 4/27/10 11:06 AM Page 1

赤ちゃんは自分のペースで成長します。
赤ちゃんの言語発達の様子を観察し、
もし心配な場合は助けを求めることが大切です。

生後6から10ヵ月まで

- ★ 興味がある音の方向に顔を向ける
- ★ 「マーマ」、「バーバ」、「ダーダ」など意味のない音を発する
- ★ 言葉の音を真似し始める
- ★ 「ダメ」、「バイバイ」など、簡単な言葉を理解する

生後10から15ヵ月まで

- ★ 言われると、よく知っている物や人を指で差したり、目で見たりする
- ★ 簡単な言葉や音の真似をする
- ★ 音楽が流れていると、体を上下に揺さぶったり、音を発したりする
- ★ 「いないいないばあ」や両手をたたき合わせる遊びなどを楽しむ

生後15から18ヵ月まで

- ★ 「ボール、ちょうだい」などの、簡単な指示に応じる
- ★ 別の部屋から自分の名前を呼ばれると、それに応える
- ★ 歌や音楽に反応する
- ★ 「はい」か「いいえ」で答えられる簡単な質問を理解する
- ★ **10から20語の言葉を話す**
- ★ 生後18ヵ月になると、話せる言葉がもっと増える

生後18から24ヵ月まで

- ★ 20語以上の言葉を話す
- ★ 「もっと ジュース」、「クッキー ほしい」など、二語文を話す
- ★ 簡単なお話や歌を楽しむ

生後24から36ヵ月まで

- ★ 30語以上の言葉を話す
- ★ 二語文、三語文を話す
- ★ 自分のニーズをほとんど伝えることができる

早期介入サービス局 (**Bureau of Early Intervention Services**)
乳児聴覚プログラム
電話番号 (614)-644-8389
1-800-755-GROW
www.ohiohelpmegrow.org

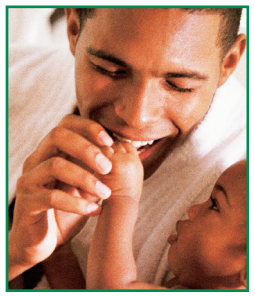
早期発見が大切です

2 つの州全体を対象としたプログラムが無料で受けられます。両プログラムとも新生児および３歳以下の子供が対象となります。

1. **Help Me Grow (HMG) 1-800-755-GROW**
2. 地方乳幼児聴覚プログラム
   (**RIHP: Regional Infant Hearing Program**)

RIHP は、赤ちゃんとのコミュニケーションを手助けするサービスをご自宅で提供します。赤ちゃんとのコミュニケーションの方法は、手話、補聴器、人工内耳、またはそれらを組み合わせたものなど、いくつかの選択肢があります。赤ちゃんに進んで話しかけ、親子遊びやお歌を一緒に楽しみましょう。

ご質問等ございましたら、**ODH** までご連絡ください。ウェブサイトは以下をご覧ください。あなたの地域で利用できるサービスを探すお手伝いをいたします。



早期介入サービス局 (**Bureau of Early Intervention Services**)
乳児聴覚プログラム
246 N. High Street,
Columbus, OH 43215
電話番号 (614)-644-8389
1-800-755-GROW
Fax 番号 (614) 728-9163
Eメール : beis@odh.ohio.gov
www.ohiohelpmegrow.org

機会均等雇用者／提供者 (**An Equal Opportunity Employer/Provider**)

「音」のはじまり...

保護者の方へ

全新生児聴覚スクリーニング

(UNHS: Universal Newborn Hearing Screening)

オハイオ州法では、すべての新生児が退院して帰宅する前に聴覚スクリーニングを受けることが義務付けられています。聴覚スクリーニングは簡単かつ安全です。

オハイオ州保険局

新生児聴覚スクリーニング

聴覚スクリーニングは、赤ちゃんの耳のきこえを調べるための簡単な検査です。またこれにより、精密な検査が必要かどうかがわかります。赤ちゃんは、聞くことによってコミュニケーションに必要な言語能力を発達させます。

1 聴覚スクリーニングの方法

★ 検査中に赤ちゃんが寝ていても大丈夫です。
★ スクリーニングは、新生児室または静かな部屋で行われます。
★ スクリーニングに要する時間は 15 分以下です。

赤ちゃんが受ける聴覚スクリーニング検査は以下のひとつ、または両方です。

ABR: (聴性脳幹反応)
赤ちゃんの顔、肩、首にパッチをつけます。小さなヘッドフォンを赤ちゃんの両耳に当て、柔らかい音を聞かせます。

OAE: (耳音響放射)
柔らかいスポンジやゴムの先端を赤ちゃんの両耳に入れ、柔らかい音を聞かせます。

赤ちゃんの言語発達過程を、常に注意深く観察しましょう。

2 聴覚スクリーニング検査の結果：

「**Pass**（パス）」の場合：
- 検査時点での難聴はなかったことを意味します。
- ★ 赤ちゃんの言語発達過程を、常に注意深く観察しましょう。

「**Risk Factor**（リスクファクター）」つきの「**Pass**（パス）」の場合：
- 検査時点での難聴はなかったことを意味します。
- ★ 赤ちゃんには一つ以上のリスクファクターがあるため、かかりつけの医師に相談してください。
- ★ 精密な検査が必要な場合があります。今後成長の過程で、難聴になる可能性があります。

「**Non-Pass**（ノンパス）」の場合：フォローアップ検査の項を参照してください。
- 検査時に、スクリーニング検査に「パス」しなかったことを意味します。赤ちゃんには再検査が必要です。
- ★ オーディオロジスト（聴覚専門家）によって、再検査を受ける必要があります。
- ★ 赤ちゃん耳の中に液体が溜まっていたり、その他のなんらかの理由で、この検査結果が出る場合があります。
- ★ これは赤ちゃんが難聴であるという意味ではなく、より精密な検査を行う必要があることを意味します。
- ★ 退院してから 2、3 週間以内にフォローアップ検査を受けてください。
- ★ 聴覚能力を検査できるオーディオロジストのリストを病院で受け取ってください。
- ★ この検査結果が出ても、心配したり怖がったりしないでください。

3 フォローアップ検査が必要な場合：
（「Non-Pass」または「Risk Factor」のため）

次のステップ：
（目標：3 から 6 ヵ月のうちに検査を受ける）

1. 初診時に、かかりつけの医師にクリーニング検査結果について相談する。
2. 生後 2、3 週以内に、オーディオロジスト（聴覚の専門家）によるフォローアップ検査を受ける。オーディオロジストを探すには、病院から提供されたリストを参考にしてください。
3. 地方乳幼児聴覚プログラムがオーディオロジストを探すお手伝いをします。また、フォローアップ検査に関するご質問にお応えします。

4 フォローアップ検査後 赤ちゃんが難聴であると診断された場合は?（6ヵ月以内の目標）

1. 医師またはオーディオロジストから、赤ちゃんの難聴について説明を受けます。
2. お住まいの地域の地方乳幼児聴覚プログラム (**RIHP: Regional Infant Hearing Program**) から、連絡を受けます。
3. **RIHP** の経験豊かな保護者アドバイザーが質問に応じます。また、**難聴に関する情報やコミュニケーションの選択肢、およびご家族が必要とするサポートとリソース**を提供します。
4. **Help Me Grow-Birth to Three**（早期介入）プログラムでは、サービス・コーディネーターがあなたのご家族をサポートします。
5. 引き続き、オーディオロジストの診察を受けてください。
6. 詳しい情報は、**ODH (614-644-8389)**までお電話ください。または、ウェブサイト http://www.ohiohelpmegrow.org をご覧ください。

聴覚検査は何歳になっても受けることができます!

赤ちゃんは生まれたときから「学習」を始めます

★ 赤ちゃんの成長を楽しみ、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。赤ちゃんに進んで話しかけ、親子遊びやお歌を一緒に楽しみましょう。

言語発達過程

★ 出生時に聴覚スクリーニングをパスした赤ちゃんのほとんどが、言葉を覚え、話せるようになります。

★ 病院で聴覚スクリーニングをパスした赤ちゃんでも、今後成長の過程で難聴になる可能性があります。

★ 保護者は、赤ちゃんの聴覚や言語の発達を注意深く観察することが大切です。

★ 赤ちゃんの聴覚に関して心配がある場合は、オーディオロジスト（聴覚専門家）による検査を受けてください。

言語発達過程チャートを利用して、赤ちゃんの聴覚や言語の発達を確認しましょう。

誕生から生後3ヵ月まで

★ 大きな音にびっくりする

★ 聞きなれた声を聞くと、落ち着く

生後3から6ヵ月まで

★ 音のする方向へ顔を向けようとする

★ 音のする方へ目を向けようとする

★ キャーキャーと声を上げたり、クークー、グーグーといった音を発したりする

★ 「ウー」や「バーバ」など、自分の声を真似する

★ ガラガラなどの音を発するおもちゃを喜ぶ

裏へ

難聴によって、赤ちゃんの言語やコミュニケーションの発達に遅れが生じる場合があります。